



2025年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年11月14日

東

上場会社名 株式会社アプリックス

上場取引所

コード番号 3727

URL <https://www.aplix.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 倉林 聡子

問合せ先責任者 (役職名) IR・コーポレート

(氏名) 岩井 俊輔

(TEL) 050-3786-1715

推進部 部長

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,201	△22.0	108	△29.9	123	△17.9	103	△16.8	103	△16.8	103	△0.2
2024年12月期第3四半期	2,825	△0.1	154	△27.1	150	△44.5	124	△47.5	124	△47.5	104	△61.9

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第3四半期	4.78		4.77	
2024年12月期第3四半期	5.70		5.68	

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	3,744	2,622	2,622	70.0
2024年12月期	3,885	2,594	2,594	66.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年12月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				3.50	3.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年12月期年間配当(期末)の内訳 普通配当: 2円50銭 初配記念配当: 1円00銭

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	3,767	1.6	165	△27.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 —社(社名)— 、除外 1社(社名) 株式会社H2

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期3Q	21,886,130株	2024年12月期	21,886,130株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	129,736株	2024年12月期	129,687株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期3Q	21,756,429株	2024年12月期3Q	21,936,268株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～2025年9月30日）における我が国の経済は、内閣府による2025年9月の月例経済報告では「米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。」と報告されています。先行きについては、「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。」と報告されており、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社は当第3四半期連結累計期間において以下の施策に取り組んでまいりました。

なお、セグメント間の内部売上収益は、セグメントの売上収益に含めております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

＜ストックビジネス事業＞

ストックビジネス事業においては、新サービスであるリテールメディアプラットフォーム「BRIDGE AD」の提供を開始し、国内大手小売業者の店舗において同プラットフォームを活用した広告配信を開始しました。また、本年11月には、販促活動の強化と顧客理解の深化を目的とした新ラインナップ「BA Boost」および「BA Insight」の展開を開始しました。今後も様々な顧客ニーズを踏まえてラインナップ拡充に取り組んでいく予定です。9月には、業務提携先であるジャスミー株式会社との協業により、アプリックス初の電子マネーサービスである「さガッツ！マネー」の提供を開始しました。本サービスは、現在当社が関東財務局に登録審査中の第三者型前払式支払手段とは異なり資金決済法の適用外サービスではありますが、加盟店登録審査や精算業務などにおいては、資金決済法適用時と同等の運用体制で対応しております。今後は、引き続き関東財務局の登録審査完了に向けて対応していくとともに、「さガッツ！マネー」についても拡販に努めてまいります。加えて、連結子会社であるスマートモバイルコミュニケーションズ株式会社（以下「SMC」）が提供する通信機能付きAIドライブレコーダー「AORINO」、及び法人向けサービス「AORINO Biz」について、本年より提供を開始したアルコール検知器連携アプリ「FUUDA」（フーダ）を付帯商材として、取次店や販売代理店、OEM先等の販売パートナーと連携しながら営業活動を強化しました。その他、SMCにおける音声・通信サービスの提供のほか、クラウドSIMを用いたモバイルWiFiルーター「THE WiFi」の拡販に注力するとともに、顧客が満足して継続利用できるような通信環境やサポート等のサービス品質の向上に取り組みしました。

＜システム開発事業＞

システム開発事業においては、ロケーションビーコン「MyBeaconシリーズ」の拡販に努めたほか、Bluetooth Low Energy通信機能を搭載するハードウェアの試作開発支援等、組込み開発技術を生かしたシステム開発を行いました。また、クラウド関連システムの開発や顧客のニーズに応じたフロントエンドシステムやバックエンドシステムの開発支援やテクニカルサポート等を行いました。なお、社内体制の強化を目的として、8月に管理部門の組織体制の変更を行うとともにIR専門部署を設置しました。あわせて、営業体制についても新たに新営業担当執行役員を採用・選任して体制強化を図っております。今後は、管理部門においては業務効率の向上と更なる収益性の改善に取り組むとともに、営業体制においてはこれまで従来より中心的役割を担ってきた営業担当取締役と新執行役員を中心に、営業活動の一層の強化を推進してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のストックビジネス事業の売上収益は1,936,533千円（前第3四半期連結累計期間の売上収益2,427,033千円）、システム開発事業の売上収益は275,783千円（前第3四半期連結累計期間の売上収益427,791千円）となりました。

事業損益につきましては、ストックビジネス事業の事業利益は225,406千円（前第3四半期連結累計期間の事業利益278,458千円）、システム開発事業の事業利益は38,715千円（前第3四半期連結累計期間の事業利益30,499千円）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間においてセグメント利益の調整額が155,839千円（前第3四半期連結累計期間のセグメント利益の調整額154,462千円）発生しております。セグメント利益の調整額は、四半期連結損益計算書の事業利益と調整を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は2,201,405千円（前第3四半期連結累計期間の売上収益2,825,616千円）となりました。

事業損益につきましては、108,281千円の事業利益（前第3四半期連結累計期間の事業利益154,494千円）となりました。

営業損益につきましては、126,645千円の営業利益（前第3四半期連結累計期間の営業利益154,633千円）となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、103,895千円（前第3四半期連結累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益124,980千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して141,214千円減少し、3,744,497千円となりました。これは、営業債権及びその他の債権が102,111千円、現金及び現金同等物が23,644千円、無形資産が21,541千円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して168,955千円減少し、1,122,254千円となりました。これは、借入金72,925千円、営業債務及びその他の債務が57,531千円、繰延税金負債が25,632千円減少したこと等によるものです。

資本につきましては、前連結会計年度末と比較して27,741千円増加し2,622,242千円となりました。これは、利益剰余金が28,545千円増加したこと等によるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率につきましては、前連結会計年度末と比較して3.2ポイント増加し、70.0%となりました。

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して23,644千円減少し1,299,914千円となりました。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、215,562千円（前第3四半期連結累計期間は135,218千円の増加）となりました。これは主に税引前四半期利益123,447千円、減価償却費及び償却費107,565千円、営業債権及びその他の債権の減少100,518千円、営業債務及びその他の債務の減少57,531千円によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、75,799千円（前第3四半期連結累計期間は950,749千円の減少）となりました。これは主に無形資産の取得による支出75,031千円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、163,408千円（前第3四半期連結累計期間は266,635千円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出74,997千円、配当金の支払額74,996千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期連結業績予想につきましては、2025年2月14日付「2024年12月期決算短信〔I F R S〕（連結）」において公表した数値から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,323,558	1,299,914
営業債権及びその他の債権	467,120	365,008
棚卸資産	85,292	112,214
未収法人所得税	445	160
その他の流動資産	19,737	19,068
流動資産合計	1,896,155	1,796,366
非流動資産		
有形固定資産	2,181	1,496
使用権資産	25,703	15,395
のれん	893,046	893,046
無形資産	896,637	875,095
その他の金融資産	141,921	142,111
契約コスト	30,066	20,984
非流動資産合計	1,989,556	1,948,130
資産合計	3,885,711	3,744,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	320,859	263,328
借入金	197,320	197,837
リース負債	17,868	13,516
未払法人所得税	30,698	43,765
その他の金融負債	39,988	27,774
その他の流動負債	76,595	76,805
流動負債合計	683,329	623,027
非流動負債		
借入金	321,137	247,694
リース負債	14,329	5,299
引当金	9,927	9,927
その他の金融負債	61,628	61,649
繰延税金負債	199,530	173,897
その他の非流動負債	1,328	758
非流動負債合計	607,880	499,227
負債合計	1,291,209	1,122,254
資本		
資本金	62,556	62,556
資本剰余金	1,842,759	1,841,961
利益剰余金	715,660	744,206
自己株式	△26,474	△26,482
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,594,501	2,622,242
資本合計	2,594,501	2,622,242
負債及び資本合計	3,885,711	3,744,497

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	2,825,616	2,201,405
売上原価	2,064,159	1,470,602
売上総利益	761,457	730,803
販売費及び一般管理費	606,962	622,521
事業利益	154,494	108,281
その他収益	138	18,364
その他費用	—	—
営業利益	154,633	126,645
金融収益	2,648	4,694
金融費用	6,794	7,893
税引前四半期利益	150,487	123,447
法人所得税費用	25,539	19,551
四半期利益	124,947	103,895
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	124,980	103,895
非支配持分	△32	—
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	5.70	4.78
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	5.68	4.77

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期利益	124,947	103,895
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	△20,776	—
税引後その他の包括利益	△20,776	—
四半期包括利益	104,171	103,895
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	104,204	103,895
非支配持分	△32	—

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 包括利益 累計額	合計		
2024年1月1日現在 残高	51,456	1,935,757	603,558	△26,461	△15,352	2,548,958	5,682	2,554,641
四半期包括利益								
四半期利益	—	—	124,980	—	—	124,980	△32	124,947
その他の包括利益	—	—	—	—	△20,776	△20,776	—	△20,776
四半期包括利益合計	—	—	124,980	—	△20,776	104,204	△32	104,171
所有者との取引額等								
資本剰余金から利 益剰余金への振替	—	△543	543	—	—	—	—	—
連結子会社株式の 取得による持分の 増減	—	349	—	—	—	349	△5,650	△5,301
自己株式の取得	—	△867	—	△90,857	—	△91,725	—	△91,725
自己株式の消却	—	△90,851	—	90,851	—	—	—	—
所有者との取引額等 合計	—	△91,913	543	△5	—	△91,376	△5,650	△97,026
2024年9月30日現在 残高	51,456	1,843,843	729,082	△26,467	△36,128	2,561,787	—	2,561,787

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計	
2025年1月1日現在 残高	62,556	1,842,759	715,660	△26,474	2,594,501	2,594,501
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	103,895	—	103,895	103,895
四半期包括利益合計	—	—	103,895	—	103,895	103,895
所有者との取引額等						
配当金	—	—	△76,147	—	△76,147	△76,147
資本剰余金から利 益剰余金への振替	—	△797	797	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△7	△7	△7
所有者との取引額等 合計	—	△797	△75,350	△7	△76,154	△76,154
2025年9月30日現在 残高	62,556	1,841,961	744,206	△26,482	2,622,242	2,622,242

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	150,487	123,447
減価償却費及び償却費	87,791	107,565
賠償金	—	△4,925
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	41,075	100,518
棚卸資産の増減 (△は増加)	4,930	△26,922
契約コストの増減額 (△は増加)	10,334	9,081
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△135,928	△57,531
その他	△18,839	△6,686
小計	139,851	244,547
利息及び配当金の受取額	79	1,048
利息の支払額	△3,896	△4,720
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△816	△31,831
賠償金の受取額	—	6,518
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,218	215,562
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△776	—
無形資産の取得による支出	△31,569	△75,031
敷金及び保証金の差入による支出	△4,344	△767
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△912,959	—
その他	△1,100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△950,749	△75,799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	100,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△300,000
長期借入による収入	491,000	—
長期借入金の返済による支出	△114,115	△74,997
リース負債の返済による支出	△13,223	△13,407
自己株式の取得による支出	△91,725	△7
配当金の支払額	—	△74,996
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△5,301	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	266,635	△163,408
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	△67	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△548,963	△23,644
現金及び現金同等物の期首残高	1,807,658	1,323,558
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,258,694	1,299,914

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別セグメントから構成されており、「ストックビジネス事業」と「システム開発事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、事業利益※ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。

※ 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ストック ビジネス事業	システム 開発事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	2,426,825	398,791	2,825,616	—	2,825,616
セグメント間の内部売上 収益	207	29,000	29,207	△29,207	—
計	2,427,033	427,791	2,854,824	△29,207	2,825,616
事業利益	278,458	30,499	308,957	△154,462	154,494
その他収益					138
その他費用					—
営業利益					154,633
金融収益					2,648
金融費用					6,794
税引前四半期利益					150,487

(注1) 事業利益の調整額△154,462千円には、セグメント間取引消去△4,701千円、各事業セグメントに配分していない全社費用△149,761千円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ストック ビジネス事業	システム 開発事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,928,042	273,363	2,201,405	—	2,201,405
セグメント間の内部売上 収益	8,490	2,420	10,910	△10,910	—
計	1,936,533	275,783	2,212,316	△10,910	2,201,405
事業利益	225,406	38,715	264,121	△155,839	108,281
その他収益					18,364
その他費用					—
営業利益					126,645
金融収益					4,694
金融費用					7,893
税引前四半期利益					123,447

（注1）事業利益の調整額△155,839千円には、セグメント間取引消去4,926千円、各事業セグメントに配分していない全社費用△160,766千円が含まれております。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。